

- ・特別支援学校の教室不足。(知的障害、9歳)
- ・小学校入学に際し、指導主事の指導があまりにもひどかった。結局、地域外入学をして、住いも転居する事になった。しょうがい教育を勉強した教員であり、人格のある人を主事として配置すべきだと思う。(知的障害、10歳)
- ・障害に理解があるとうたっていた幼稚園(私立)に入園したが、遠足で付きそいを求めてきたり、お泊まり保育に参加させてもらえない、など差別的な扱いを受けた。幼稚園は圧倒的に私立が多いと思うので、外部からの目が届きにくい。保護者からアンケートをとるなど、もっと監視してほしい。(知的障害、10歳)
- ・教師の人数等適切な配置をしてほしい・一人一人の支援的教育をしっかりと。(知的障害、11歳)
- ・学校が過密化して限界にきています。(知的障害、11歳)
- ・現在、在籍している特別支援学校は中等部までしかない。区内にも特別支援学校高等部があってほしい。(知的障害、11歳)
- ・昨年(2007年度)まで、特別支援学級に在籍していました。子どもの障害や諸事情から特別支援教育に期待し、地域の小学校に入学いたしました。介助員として加配や支援員が付添いましたが在籍児童4名にもかかわらず、ベテランの特別支援教育コーディネーターを兼務する担任は、全くやる気がなく、障害に対する勉強もしない、特別支援教育とは逆行するような言動が見られ、全て介助、支援員にまかせ、一切子どもと関わらないという状況が続きました。あげくのはて、いじめにも加担しだし、学校にも都合のよい報告しかしていなかったことが分かりました。特別支援教育とは名ばかり。実態は何も変わっていません。普通学級にいて、うまく適応できない子を“とり出し”障害名を付け、それらしい教育をする(形だけ)そもそも根底に差別がある以上、真のインクルージョンとは似て非なるものを生み出していることは事実です。めんどくさくなれば、努力することも自らをふりかえることもせず、転校(養護や他学校)をうながす学校が大部分であることをご存知ですか?これは特殊な一例ではありません。少なくとも私の住む地域の障害児の親たちは、現状に満足していません。声を出せば、教育委員会の特例支援担当係の元教員がクレーマー、モンスターペアレントとレッテルを貼り孤立させられるよとの噂におそれています。今年度(2008年度)から普通学級に転籍、楽しくやれています。メスを入れてほしいですね。(知的障害、11歳)
- ・特別支援クラスが3クラスあります。計16人です。あるクラス、6人の内3人が女兒です。月経になった女兒が3人おり、担任は男、副担任も男です。その為、介助が出来ません。生活介助員は3クラス巡回なので中々タイミングが難しいです。学校で手が足りないのであれば、親も介入したら良いと思いますが、介入させてもらえません。その為、先生方が気付かずにそのままの状態帰宅するケースが何度かありました。校長にも伝えましたが個々現場には伝わらず、きちんとした介助がされていません。(知的障害、11歳)
- ・教員不足、教室不足・教員の専門性の向上、意識の向上(知的障害、12歳)
- ・4月から中学生になると言われたけど、よくわかりません。こわそうな先生がいるので、中学生になりたくないです。(知的障害、12歳)
- ・指導力のある熱心で子どもに対する思いやりや熱意のある教員もいるが、とてもそうとは言えない教員もいる。担任により、当たりはずれがあり、貴重な一年を棒に振ってしまう場合もある。一般小・中学校で指導力不足だった先生の受け皿として、特別支援学校に回されて

きているのではと、思いたくなることもある。専門性だけが全てではなく、子どもの持つ力を最大限に生かそうとする気持ちのある教員の配置を望む。在籍校が目指し取り組んでいる教育理念が望ましいものであるだけに実践できる教員をと思う。(知的障害、12歳)

- ・ただでさえ、勉強が遅れているのに、国語の時間に「話し合い」活動をしたり、学校の都合(行事など)で授業が削られることも多い。さらに、地域の小学校より、終業式が早かったりするのに疑問。勉強だけが大切ではないと思うが、せつかく、少人数でやっているのだから、もっと指導が出来るはず。教員は休日返上位の気持で指導して欲しいと思う。また、ろう学校の教員が、盲学校などへ異動になったりするのは、おかしい。畑違いだ。全く、指導の仕方が違う。また、ろう学校以外から異動してくる先生の練習道具となっている気がする。盲・ろう・養護学校を一緒に考えてもらいたくない。(聴覚障害、8歳)
- ・聾であってもしっかりと教育、聴の子供達があたり前の様に受ける教育を、我が子にも、与えていただきたい。現在、手話の出来る担任に教えてはもらっているが、学校全体としては、まだまだ意識が低い。子供が理解出来る言語で、教育してさえくれば、娘は何ら、学習に遅れをとることはないのであるが、指導の出来る教員が少なすぎる。子供の方が、負担になっている。学校との話し合いになると、子供の立場になるというよりは学校の立場を主張されることの方が多い。誰の為の学校教育なのであろうか。(聴覚障害、8歳)
- ・なれた先生を転勤させないで欲しい。知的障害の重複があるからといっても、全くろう教育の経験のない先生に(知的の学校ではベテラン)いきなり担任を任せてもらっても困る。ろう教育を受けたいから、ろう学校を選んできているのに作業の時間を余分に取すぎて勉強する時間が少ないように思う。スクールバスは人数が少なくないし、家族が送り迎え(自力通学はまだむりなので)をするすかない放課後クラブみたいなのがあるといい。家に帰っても姉妹で遊ぶしかない、ゲームをするくらいで友達と遊べるクラブがあるとうれしいと思う。(聴覚障害、11歳)
- ・今、人事移動で、手話の出来る、先生達が、普通の学校へ、又、手話の出来ない先生が、来ると言うふしぎな体制だ。聾学校なのだから、手話が、出来る先生が教えるべきと思う。(聴覚障害、12歳)
- ・現在地域の小学校の普通学級に在籍しています。小学校には障害児支援員の先生が1日に1時間くらいノートテイクをしてくれていてとても助かっています。中学校に行っても引き続き支援をお願いしています。また週に1回ろう学校に1時間通級して補聴器の点検などをいただいています。とても恵まれた環境にいると感謝しています。(聴覚障害、19歳)
- ・小学部に入学して一年です。アンケートに満足に答える事ができなくてすみません。いかし今の学校生活に本人も満足している様で毎日学校へ通っています。現在通学している学校へは親子共々、大変満足していてこれと言って希望する事はありません。(内部障害、6歳)
- ・医療行為が必要なため、看護師配置・エレベーターがないので介助の先生と、人力で交流の教室に運んでいる(本人と器械)4Fになった時が(5、6年も)心配(内部障害、8歳)
- ・いろいろな障害、程度の子がいるので、教育の内容が必ずしも自分に合っていない・学校の教育方針に疑問がある。「自立」を無理にすすめるため、訓練的な要素が強い・学校に対して疑問があっても、それを言う場、他の人たちの意見をきく場がない(内部障害、11歳)
- ・入学1年目は学校生活を安全に過ごす為の環境整備が全くと言っていいほどされておらず、市教委より嫌がらせともとれる扱いを受けた。さらに特別支援学級担任が「他の子の指導で

忙しい。肢体不自由の子は専門外なので自分には無理。誰か他の人に…」と指導を拒否。親学級の担任も自分のクラスの児童以外の子を引き受けることに困惑（迷惑）の態度を見せた。結局、この年は特別支援学級で実習することはなく、親学級に「お邪魔させていただく」形で母と介助員が全ての学習活動をサポートした。2年生になり、正式な担任が加配されたことで状況は大きく変わった。関係者によるサポート会議が定期的に行われ、学習活動や行事への参加も積極的に考えてもらえるようになった。続けて持ち上がりとなった親学級担任の態度も変わり、特支担任と連携して「同じクラスの仲間」として受け入れてもらっている。また、これまでは車椅子を担いで階段を移動していたが、新年度からは昇降機設置が決定している。（難病、8歳）

- ・学校の先生と教育委員会の人の意識改革、もう少し考えて行動、言動してほしい（難病、9歳）
- ・気管切開をし、人工呼吸器使用しているため、親がつねに付きそいしています。学校には看護師さんが、常に3人いてくれています。小中高全校生徒のうち、20人程が医療的ケアをうけている状態で、看護師3人で手いっぱい。看護師さんの人数が増えて、親のつきそいが、少しでもなくなることを願っています。（難病、10歳）
- ・現在は、訪問籍ですが、今週から通学籍になります。（難病、10歳）
- ・通常学級に車いすです通っているが、校舎のバリアフリー化が不十分。遠足が山登りなど、参加できない行事があり悲しい。社会科見学でも、リフトバスを借りてくれないので、みんなと一緒にいけなく悲しい。（難病、11歳）
- ・周囲の子供たちや保護者に「障害」に対する偏見がある。・「配慮」という名のもとに、甘やかされているように感じられることがある。社会の中で生きることを見据えた教育をしてほしい。（発達障害、7歳）
- ・現在小3のアスペルガー男児です。前の学校で情緒学級に在籍していましたが、特別支援コーディネーターでもある担当者がアスペルガー障害について理解がなく、過度の叱責、指導の行きすぎ（体罰・暴言）から、うつ状態、チックになり不登校となりました。教育委員会でも調査せず転校したらとまでいわれ、理不尽と思いましたが、泣き寝入りの状態で転校しました。新しい学校では理解して頂き、がんばって自立登校できるまでになりました。学校格差にがく然としています。又、まわりの方でも知的障害の指導が長い先生（50代女性）に問題ある教師が多いようです。（発達障害、8歳）
- ・先生の人数の不足を感じる。子供が落ち着かない時に寄り添ってくれる先生がいない。普通中学校から特別支援学校高等部へ進学者が増え、過密化している。高等部の生徒はプレハブ校舎で10年以上学んでいるプレハブ校舎があるので校庭はせまい、体育館も小さい。落ち着かない子がいる時静かに落ち着くためのクールダウンする場所がない。これは人権問題だと思います。学ぶ場の保障を願います（発達障害、8歳）
- ・特別支援学校の教員の配置が、重度重複学級〇〇人なら〇人普通学級〇〇人なら〇人と人数によって配置人数を決めてしまうのは、どうかと思う。知的障害の特支学校では多くの子供が自閉と知的とを重複していて普通学級に在籍しているので都の決めている人数の配置では特別に支援が必要で支援学校に行っているのに、それが受けられない事もあるのでは??都の教育委員会の方でその辺りを柔軟に対応していただければと思います。（発達障害、8歳）
- ・3mmの配慮のありがたさ。私どもの子供は算数障害があります。短期記憶、情報処理速度に

も問題があります。だから筆算で掛け算をすると繰り上がりの数字を覚えておくことが出来ません。また手先も無器用なので、文字を小さく書くことが出来ません。そうすると当然宿題で出されたプリントの字は、ありとあらゆる数字がぐちゃぐちゃになってしまいます。プリントは正しい答えを導き出すレベルではなくなってしまいます。それがあるとき、プリントが141パーセントに拡大されていました。計算欄は3mm縦に長くなりました。すると子供は、繰り上がり部分とそうでない部分と分けて表記できるようになり、時間はかかりますが、課題はこなせるようになりました。そうすると子供も苦手ながらも、課題が出来、自信がもてます。またがんばろうという気持ちにもなります。支援というのはそういうものだと思います。また漢字もきれいに書くことは大事です。でも書けない子だっているのです。どんなにがんばっても。子供の担任の先生は覚えることを優先と目標設定してくださり、どんなに升目から字がはみ出している、ノートいっぱい花丸をしてくださいます。そうするとまた子供はがんばって覚えよう、練習しようという気持ちになります。すると、覚えるのです。子供ってそんなものです。支援はそういうものだと思います。子供は先生が大好きです。将来は先生になるのも悪くないとっております。そんな将来に夢や希望が持てる子供が一人でも多くなりますよう、お力添えをよろしくお願いいたします。3.20〇〇会「〇〇」〇〇(発達障害、9歳)

- ・教室が不足している、教員が足りない。小→中への教員の連携がとれていない。中1の自閉症クラスの担任が、自閉症をしらないので、クラスが問題ばかりおこって困っているらしい。そういう状態の中学部へ将来行かなければならない。高等部になった時、困ると思う。自閉症の児童・生徒を指導できる教員を配置してほしい。小学部の自閉症クラスに在籍し、現在までは、うまくいっています！！(発達障害、9歳)
- ・現在、学童にも在籍していて、健常児とのふれあいに満足しているが、支援児(障害児)の受け入れは6年生まで可能だとしても低学年の中に多動の我が子を6年になってもあずけるのは、常に心配をかかえることになる。小学生の間は、まだいいが、これが中学生や高校生になった時、授業の時間がのびて平日はいいが、長期休暇など、学童クラブのような、居場所、学校を開放しての活動などが、多様になるととても嬉しい。(発達障害、9歳)
- ・小1の頃の担任の先生は、障害のことをよく理解して下さっていて、加配の先生とのマンツーマンで別室での指導や支エん内容を話し合った上での加配の先生への支エんの指示をした下さりとても助かりました。次の年からなくなってしまったのですが、やはり加配の先生をつけていただけるのなら、子供が本当に困っているところの支エんをしてほしいと思っています。支エん内容を明確にして、その時間が子供にとって安心でき、すこしでも前進できるような有意義な授業になれば、と思っています。(発達障害、9歳)
- ・特別支援コーディネーターが在校生800人以上の中でたった一人。しかも専門的知識なく、就任は二学期以降と…。対応できるわけがない現実に憤りを感じる(発達障害、9歳)
- ・これまで受けてきた教育にとっても満足しています。これから先、特に中学校の特別支援学級を充実させていただき魅力あるものにしていただきたいです。(発達障害、10歳)
- ・学年が変わるたびに引きつぎをお願いしたい。・子供の苦手なこと、困ってる事を学校の先生全体で共有してほしい。(例:パニックになったとき、ろう下で落ちつこうとがんばっていたが、(担任の了解ずみ)他の教師が、おいかけてきて1人になれず、ますますパニックがひどくなるなど)→その後その教師がこわくなり行事(全校朝会、卒業式練習など)に参加でき

- なくなる。(発達障害、10歳)
- ・一人の先生が障害の違う生徒3人を個別の授業でうけもって一人に対する授業時間が短い。特別支援学校という名前の通り特別に支援の必要な子供達が通っているのだから教員を増やしてほしい(発達障害、10歳)
 - ・学校により、担任により、支援の態勢や障害理解のばらつきが大きい。場合によっては人権を侵害されていると感じることさえある。不登校でも転校によって環境がかなり改善された。学校管理職、特別支援担当教員には、包容力のある人材の配置を切に望みます。(発達障害、10歳)
 - ・支援をうけての自己実現、自立をさせてもらいたいと思います。字が書けなくても(再生できなくても)字が分かる(再認できる)子の教育をあたえてほしい(IT技術の利用も考えてほしい)(発達障害、10歳)
 - ・いじめに合っているが、学校な、何も対応してくれない。学校長自身も見て見ぬふりをしている。子供の人権が全く無い。(発達障害、11歳)
 - ・教室不足で1つの教室をカーテンで仕切って2学級で使う等過密化・自閉症に対する理解の無いベテラン教師の害・障害理解に努力はするが、1個の子供としての姿を見ようとしない教師の害◎もちろん、理解と情熱を持ち、適切な指導のできる先生もたくさんいらっしゃいます。(発達障害、11歳)
 - ・言葉が少し出るくらいで、地域の学校に行けと言われた。本人のくわしい状況を知らないのに、見ためで言われた。(就学相談時)・見て子どもがわかるように(視覚支援)取りくんでもらうことが難しい先生がいるのでなかなか理解してもらえない。(発達障害、11歳)
 - ・今の担任は、とても理解があり本人と信頼関係も築いて「やる気」を引き出してくれました、が以前は責任感のない補助員が本人が望まない特別支援クラスへの移籍を迫る学校側の対応に苦しみ、二次障害を起こしてしまいました。教師が学校(校長・教頭・コーディネーター)間に障害への理解に対する格差があるのは、子供の人生を左右しかねないし、非常に困った事だと思います。・私の住む〇〇市では、学級運営補助指導員の数は増えていますが、付けた結果はどうであったか、評価を教育委員会に報告する必要はないとのことで、その効果は疑問です。コーディネーター等から補助員への指導・アドバイスもなく、説明抜きに一方的に進められたり、突然打ち切られたりして、支援教育をしているという単なるポーズに見えた時もありました。学校・行政は、誰のための教育なのか、本人の希望と保護者の声を聞いて欲しい。子供から笑顔を奪わないで、と願っています。(発達障害、11歳)
 - ・教師と親が連携をとろうと思っても、学校に見学(特に抜きうちで)行くことを拒まれ、何か改善点を伝えれば、ややこしくならないように、いいことだけを連絡帳に書くようになり、信頼関係がなかなか持つことができない。教師というものは、問題行動や不適切行動にばかり目がいき、それ自体を否定文や力で止めようとする対症療法的な対応が当たり前になっている。原因が必ずあるのに、本人ばかりが原因ではなく、支援者や環境が原因である場合も多いのに、「なぜだろう?」と考えることができる教師のいかに少ないことか。原因追求的療法ができる先生が増えればと願う。(発達障害、11歳)
 - ・現在の学校は、生徒数に対し施設が狭く、劣悪な環境です。教員(担任)も2人のうち1人がしょっちゅう出張で不在、時には2人とも休みの事などがあり、子供たちの安全性などとても不安です。(発達障害、11歳)

- ・現在特別支援学校の小学部に在籍しています。先生の他に言語聴覚士、作業療法士、理学療法士などの客観的に見てくれる専門家を配置していただきたい。(先生へのアドバイス、スキルアップにも役立つと思う)(発達障害、11歳)
- ・重度発達しょうがいの兄がいて、比較的早く相談を受けて、就学前からまわりの援助をかりて、ゆっくりの成長を見守ってもらい、のんびりですががんばって歩んでいます。判定は2才で療育手帳B2を昨年なかばまで使っていました。翼の会で月に1回のスポーツや学習に参加しています。大切な居場所です。(発達障害、11歳)
- ・登下校の付き添いを保護者に当然の義務のように6年間求められました。低学年の間は校外学習の度に付き添いを依頼され、難しい旨伝えた際には「安全が保障できない」「活動は制限する」と言われました。高学年になっても宿泊を伴う行事の際、ボランティアが頼めなければ親に来て欲しいと要求され、常に学校教育に親を取り入れようとする姿勢が、努力不足・熱意のなさで写りました。本人も児童の一人として堂々とすべての教育現場にいられるような学校環境(主に先生方の意識)の改善を望みます。(発達障害、11歳)
- ・学習のおくれについて、通級学級では、ニーズにあった勉強方法では、補われていないようです。(専門性がない)・通級で、ぬけた授業で、よりついていけないことがある。(とりだしの授業が希望通りにならない。)・通級よりも通常学級での学習で理解出来るようにすることが大事だと思う。担当の先生によってばらつきが出る。教員の力の差がある。・教室があれている時は、よりやる気がなかったが教室がまとまっている時は、やる気が出る。(発達障害、12歳)
- ・低学年(1・2年)から、教室に行けなくなったり、学校に行けなくなったりして、登校しても放ったらかし状態。・何かが起こると、見てもいないのに、はんにん扱いされた。・学校(校長、副校長)が教育委員会の人と勝手に話をすすめて、学校から追い出そうとした。・手におえないといい、すぐ親に電話、学校を帰された日が多くあった。・こわした物などの証こ写真を取り、個人情報なのに、相談もなく当時の通級先に見せたり、流した。・学校で勉強することはほとんどない。・学校から登校日数、登校時間制限をかけられていた。教委もようにん。6年の途中からやっとかいじよにこぎつけた。・通級にも行っていたが、家庭になんの連絡もなく(事前も事後も)、通級の在籍からはずされていた。6ヵ月して、たまたまわかった。それを親が連絡しないからと、教委が文書を出してきたので、調べなおし、出し直させた。在籍中に、入院し、退院しても、通級に行かせてもらえなかった。・親子ひどい思いをした。(発達障害、12歳)
- ・公立幼稚園(〇〇市)での教育は最低のものでした。まず障害に対する(特に発達障害)理解が乏しく、適切な対応がまるでできていませんでした。以前暮らしていた〇〇市は公立幼稚園(市内8園)に特別支援学級を設けてあり、先生方も常に講演や講習に参加して下さっていたので安心して預けられましたが、〇〇では母親がずっと付き添いをしていました。大都市だけに障害児の絶対数も多いのですから市はもったときっちりとした対応をしなければいけないと思っています(発達障害、12歳)
- ・口腔ネラトンによる経管栄養と経口でペースト食なのですが、今年の冬は急性肺炎で2回入院し、経管栄養だけでもゼロゼロ呼吸があり、こんど誤飲の検査をします。体調を整えることが第1なのですが、学校へ登校して普段の生活をする事で、本人が声をだしたり、表情がいっぱいでてくるので、体調をみて登校(週1~2回)しています。担任の先生を1人独

- 占することになるのですが、対応していただいていることに感謝しています。(発達障害、12歳)
- ・今の小学校は校長先生や担任の先生に理解があり、個別の取り出し授業等もしていただき、とても良かったのですが、他の話を聞くと学校によりかなり支援もバラつきがあるようです。やはり平等にその子に合った支援をしていただけることが望しいです。どの学校でも十分な支援があると親の負担も軽減されると思います(発達障害、12歳)
 - ・就職できるような、指導、職場実習などやってほしい。先生にも、そのための(就職についての)知識を勉強していただき、助言してほしい。(発達障害、12歳)
 - ・担任の先生が発達障害について知らないことが多く、トラブルがないことで「うまくいっています、何ももんだいはない」ととらえている。本人の悩みに目をむけてはくれない。K-ABCやウイスクⅢの検査結果を見せても「わかりません」と言われ、せっかくのアセスメントもムダになって、本人のためになっていない。専門家(普通学級担任の中に)がほしい。(発達障害、12歳)
 - ・特別支援学級の情緒のクラスで音を嫌うアスペルガーと音を出すADHDが同じクラスなので特別支援にならないのが現状です。6年に入り支援級に入級しましたが小さい子の世話で終わり、本人をのぼすに至らないことが多かったです。(発達障害、12歳)
 - ・熱心な先生に4年間も担任していただき、固くなな子供の心が開き、先生と子供と親しい関係が出来ました。中学部に行くと、先生ともおわかれです。また子供の心が閉じるのではと心配しています。(発達障害、12歳)
 - ・養護学校だから専門性のある先生かと言えば、そうでない場合があり、努力してくれている先生方もいますが、どこかズレを感じさせる先生もいて、こちらの話しが伝わらない先生もいる。(発達障害、12歳)
 - ・現在、聴覚特別支援学校に在籍しています。本人にコミュニケーション力を身につけさせたいと思うからですが、視覚も弱かったり、歩行もしっかりしていなかったりと重複障害がある為、コミュニケーションを育ててもらう事はもちろんの事、その他の面についても、しっかりみてもらえるように教師の力量、専門生をあげてもらいたいと思います(聴覚の支援校なのに、手話のできる先生が少ないです)福祉の制度が変わる中で、療育施設では学童が診てもらいにくくなっています。“学校に通っているのだから”という理由なのであれば、学校にPT、OT、STと専門職の先生に来てもらえるようにしてもらいたいです。また、地方に住んでいる為、子どもをみてくださるPT、OT、STの先生方が少なく、OTについては無いのが現状です。なんとかしてほしいと願います。(盲ろう、7歳)
 - ・今は卒業しており、困っていることはない

【Ⅲ問1 現在通っている学校・学級】

- ・盲学校(肢体不自由、8歳)
- ・高齢(肢体不自由、65歳)
- ・就学はしていない。(肢体不自由、68歳)
- ・現在は、社会人である。(視覚障害、39歳)
- ・養護学校(重複障害、11歳)
- ・籍なしです通級(重複障害、30歳)
- ・盲学校2人(知的障害、12歳)

- ・難聴学級（聴覚障害、11歳）
- ・〇〇県立ろう学校（聴覚障害、12歳）
- ・自宅学習（発達障害、10歳）
- ・中学校通常学級（15歳）

【Ⅲ問3 現在通っている学校、学級以前に在籍していた学校、学級】

- ・〇〇通園センター（肢体不自由、11歳）
- ・幼稚園（重複障害、8歳）
- ・〇〇県立ろう学校（聴覚障害、12歳）
- ・中学校23名（15歳）

【Ⅲ問4 現在の学校に通うこととなったきっかけ】

- ・気管切開、経管栄養をしており、看護師が配置されていて対応可能な学校が現在通う学校しかなかったから。（肢体不自由、7歳）
- ・地元だから（肢体不自由、8歳）
- ・利用している施設と連携している学校（肢体不自由、8歳）
- ・隣の校区の小学校を希望したが、校区内、住居のある地域での生活を基盤にすることを教育委員会から助言を頂いた（肢体不自由、9歳）
- ・地域の小学校に受け入れ拒否されたため（肢体不自由、10歳）
- ・病気になったから（肢体不自由、11歳）
- ・足の病気のため（手術や訓練）（肢体不自由、12歳）
- ・現在通学していません（肢体不自由、68歳）
- ・2才頃より教育相談を受け月2回程登校していたから。（視覚障害、7歳）
- ・祖父、祖母の住所の学区（重複障害、7歳）
- ・兄、妹で同じ学校に通わせたかったから（重複障害、8歳）
- ・地域の（学区の）学校だから（重複障害、8歳）
- ・身障級にいた担当の先生が自閉症の子をかなり嫌っていた（重複障害、9歳）
- ・重症心身障害児は、そこ以外選びようがないから。（転勤により転校しました）（重複障害、10歳）
- ・親が情報を集めて本人が好きでプールが年間を通じて受けられることや本人が好きであろう学校を考えて決めた（重複障害、11歳）
- ・通学地域だから（重複障害、11歳）
- ・兄弟の通う、地域の学校だから（重複障害、12歳）
- ・長距離の引っ越しのため（重複障害、12歳）
- ・おじいちゃん、おばあちゃんが地いきのみんなを知っているから（重複障害、30歳）
- ・自動的に（重複障害、40歳）
- ・普通の学校に行った。（精神障害、43歳）
- ・一番近い学区の学校で、兄も通っているから（知的障害、9歳）
- ・居住地域の学校だから（知的障害、9歳）
- ・地域の小学校なので（知的障害、9歳）

- ・地域の学校に入学したかったが教育委員会の指導主事に強く特別支援学校をすすめられ区域外入学で選択した。(知的障害、10歳)
- ・障害の軽重・有無にかかわらず地域の学校で学びたかったから(知的障害、11歳)
- ・他にいけるところがなかったから(知的障害、12歳)
- ・転居の為(知的障害、12歳)
- ・〇〇の公立学校だから(聴覚障害、8歳)
- ・現在の学校の、教育相談(2才頃)→幼稚部に通っていたから。(聴覚障害、8歳)
- ・本人が保育所の友達と同じ学校に行きたいと希望したから(内部障害、8歳)
- ・通っていた保育園と同じ地域の学校で学ばせたかったから(難病、6歳)
- ・地域の学校へ通うのは自然なことだから(難病、8歳)
- ・教育委員会も同様に断りました(難病、9歳)
- ・校区学校の為(難病、9歳)
- ・教育委員会の指導課で紹介されたから(発達障害、7歳)
- ・自動的に校区の学校(発達障害、8歳)
- ・小学校の特別支援学級に入れてもらえなかったから。(発達障害、9歳)
- ・地域の小学校(学区内)医療機関とも相談して(発達障害、9歳)
- ・引越しのため(発達障害、10歳)
- ・学区内の学校だったから(発達障害、11歳)
- ・学区内の学校だから(発達障害、12歳)
- ・地域の学校だったから(発達障害、12歳)
- ・保護者の転勤のため(発達障害、12歳)

【Ⅲ問5 現在の学校に通いながら、その他に受けている支援】

- ・看護師常駐(その他、12歳)
- ・訪問看護(肢体不自由、7歳)
- ・リハビリ(PT、OT)に通っています。NPOがしているてらこや事業に参加している。週1回勉強の復習を細かいステップにくぎって練習したり他の小学校の子どもたちとあそんだりしている。ヘルパーはお願いしているけれども、契約にはいたってないです。(肢体不自由、8歳)
- ・週1回のリハビリ(肢体不自由、8歳)
- ・療育センターにてOTを受けている(2ヶ月に1回)(肢体不自由、8歳)
- ・療育福祉センターで週1～10日に1回ぐらいの割合で、PT、OT、STを受けている。訓練が少ないので、(なかなか予約がとれないので)他に、民間の病院でPT、OTを時々受けている。(肢体不自由、8歳)
- ・学童デイサービスに通っています(肢体不自由、9歳)
- ・定期的に、PT、OT、STの訓練に通っている(肢体不自由、9歳)
- ・理学療法、作業療法、言語療法(肢体不自由、9歳)
- ・ショートステイ・療育センターでのリハビリ(肢体不自由、10歳)
- ・訓練に通っています(肢体不自由、10歳)
- ・療育センターでPT・OT、病院でST(肢体不自由、10歳)

- ・一時生活支援（肢体不自由、11歳）
- ・児童デイサービス（肢体不自由、11歳）
- ・児童デイサービス（肢体不自由、11歳）
- ・訪問看護（肢体不自由、11歳）
- ・療育総合センター（肢体不自由、11歳）
- ・（例えばどういうものですか？質問が抽象的でわかりにくい）日中一時支援や、タイムケアは利用しています。病院のリハビリ？もうけてます（OT、PT）（肢体不自由、12歳）
- ・介助員（肢体不自由、12歳）
- ・教育支援員が週3日（1日、6時間）（給料は教育委員会指導室より出ている）（肢体不自由、12歳）
- ・日中一時、居宅介護（肢体不自由、12歳）
- ・〇〇市学校生活介助アシスタント（肢体不自由、12歳）
- ・療育センター（肢体不自由、12歳）
- ・送迎ボランティア（視覚障害、8歳）
- ・学童保育（週3回、1回およそ2時間）（本人パレットに行ってる。）（視覚障害、11歳）
- ・月一回の盲学校のサテライト教室。長期休業期間中の盲学校での教育相談（視覚障害、11歳）
- ・受けていない（視覚障害、11歳）
- ・受けていません。（視覚障害、12歳）
- ・受けていません。（視覚障害、12歳）
- ・特別支援学校の通級指導（視覚障害、12歳）
- ・通級指導教室（重複障害、6歳）
- ・日中一時支援、療育センターで訓練（重複障害、7歳）
- ・問い合わせても「わからない」とのことです。わかりやすい設問をしてほしい。（重複障害、7歳）
- ・ST・OTを療育センターで。（重複障害、8歳）
- ・週1訓練（リハビリ）に通ってる（重複障害、8歳）
- ・学校で学習内容（国語算数など）がほとんどないのでNPOの発達センターで学習指導を受けています。（重複障害、8歳）
- ・療育訓練センターによる、リハビリ、言葉の教室（重複障害、8歳）
- ・心理・音楽療法（重複障害、9歳）
- ・特になし（重複障害、10歳）
- ・日中一時支援、ショートステイ（重複障害、10歳）
- ・移動支援・発達センターの言語訓練（重複障害、11歳）
- ・〇〇大学、大学院の作業療法士の先生からペアレント・トレーニング}・感覚統合の教室（月1回}どちらも親が探してから申し込みをした。・ヘルパーさんとの外出+児童デイサービス（放課後）（重複障害、11歳）
- ・なし（重複障害、11歳）
- ・児童デイサービス（重複障害、11歳）
- ・自立支援法に基づいたヘルパー利用（重複障害、11歳）
- ・発達相談室にて、月2回1時間マンツーマンの指導（重複障害、11歳）

- ・デイサービス（重複障害、12歳）
- ・なし（重複障害、12歳）
- ・なし（重複障害、12歳）
- ・児童デイサービスや日中一時支援を利用（重複障害、12歳）
- ・入所施設の保育（学校が休みの日などに保母さん達が実施してくれる）（重複障害、12歳）
- ・放課後のデイサービス（重複障害、12歳）
- ・療育指導センターにてPT、OTを受診（重複障害、12歳）
- ・ない（重複障害、28歳）
- ・ことばの教室（週1～2回）（重複障害、30歳）
- ・行政による療育、リハビリテーション等相談（重複障害、40歳）
- ・支援なし（知的障害、7歳）
- ・〇〇センターにて言語療法を月1回受けています。（知的障害、7歳）
- ・移動支援（知的障害、8歳）
- ・専門医療機関で言語療育（知的障害、8歳）
- ・特に地域で支援は受けていない（知的障害、8歳）
- ・〇〇認定短期入所施設「〇〇」・地域の学童保育所（知的障害、9歳）
- ・クリニックで療育を受けている（知的障害、9歳）
- ・ショートステイ（知的障害、9歳）
- ・リハビリ、ヘルパー（知的障害、9歳）
- ・子ども発達センターで、O.T、S.T.の訓練、診察（小児神経、整形）を受けている。（知的障害、9歳）
- ・児童デイサービスを週1回、放課後に使っています。（知的障害、9歳）
- ・週に1回個別指導を1時間受けている。（知的障害、9歳）
- ・民間の療育機関（知的障害、9歳）
- ・受けていない（知的障害、10歳）
- ・特になし（知的障害、10歳）
- ・（デイサービス、放課後支援）（知的障害、11歳）
- ・①県外の大学で（大学内の病院）言語療法を月2回、40分×2②週1回（県外）民間療育施設（センター）9:30～13:00③県外の病院で2ヶ月毎に通院（児童精神科でDr+臨床心理士に助言、指導）（知的障害、11歳）
- ・受けていない（知的障害、11歳）
- ・受けていません（知的障害、11歳）
- ・受けている（知的障害、11歳）
- ・常時、介助員が付添っている（特別支援教育支援員）（知的障害、11歳）
- ・放課後支援（知的障害、11歳）
- ・何ヶ所が訓練に通っている。（知的障害、12歳）
- ・居宅介護（知的障害、12歳）
- ・行動援護、日中一時支援による学童、心身障害者（児）一時保護介護（知的障害、12歳）
- ・児童デイサービス（週3回）NPO法人〇〇（知的障害）
- ・なし（聴覚障害、8歳）

- ・なし（聴覚障害、8歳）
- ・ろう学校と難聴児通所施設の発音訓練（聴覚障害、11歳）
- ・人工内耳を装着しているため大学にてサポート、メンテナンス、教育学部の学生さん1/W訓練（聞きとり、文のつくり方など）・難聴学級に2名在籍のため学校生活支援員さんが決められた時間数つれてくれ（交流学級での勉強時に）ノートテイク等のサポートあり（聴覚障害、12歳）
- ・なし（聴覚障害、12歳）
- ・週に1回ろう学校に通級して発音指導を受けている。（聴覚障害、19歳）
- ・訪問看護、訪問ヘルパー、訪問リハビリ、小児科往診、歯科往診、口腔ケア（内部障害、8歳）
- ・教育大学の特別支援教育実践研究センターによる教育相談（週1回学校を訪問、指導）（難病、8歳）
- ・医師の往診月2回、身体介護（ヘルパー）週1～2回（3時間30分）、訪問看護月2回、リハビリ週1回（難病、10歳）
- ・移動介護（難病、11歳）
- ・医療機関に通院（ST、OT）（発達障害、7歳）
- ・発達障害者支援センター、教育センターの相談支援。市の療育機関。民間の療育機関。（発達障害、7歳）
- ・ことばの教室に通っている。（発達障害、8歳）
- ・何も受けていない（発達障害、8歳）
- ・大学の教育相談、病院の発達外来（発達障害、8歳）
- ・通級指導教室（発達障害、8歳）
- ・病院のST、月1。民間の発達支援センターの放課後療育月1。民間の生活支援センター週1放課後預り、長期休暇中の利用（発達障害、8歳）
- ・民間の療育機関（発達障害、8歳）
- ・親の会を通じての学習サポート（2回/月、1回30分程度）（発達障害、9歳）
- ・大学の研究機関（発達障害、9歳）
- ・特別支援学級の先生に1月頃まで週2時間（時間の空いている時）支援をうけていました。（発達障害、9歳）
- ・特別支援教育相談センターでの教育相談、グループ活動、医療機関での定期的な療育（発達障害、9歳）
- ・療育センターで月1回医師のサポート及び薬の処方を受けている。（発達障害、9歳）
- ・ソーシャルスキルトレーニング（民間）（発達障害、10歳）
- ・なし（発達障害、10歳）
- ・なし（発達障害、10歳）
- ・地域デイグループ2ヶ所（言語訓練、芸術療法）（発達障害、10歳）
- ・校内の養護学級の先生による、月1回の指導。自分の苦手な事、等を個人指導してくれる・他校である言語教室に週1回で通っている（発達障害、11歳）
- ・療育機関に通っている。・区の移動支援（ヘルパー）を受けている。（発達障害、11歳）
- ・OT、ST（発達障害、11歳）

- ・ デイサービス（発達障害、11歳）
- ・ なし（発達障害、11歳）
- ・ 言語聴覚士による指導・療育（発達障害、11歳）
- ・ 言語療法（発達障害、11歳）
- ・ ○○市発達支援センター（発達障害、11歳）
- ・ 自立支援法による移動支援・身体介護、家事援助（発達障害、11歳）
- ・ 受けていません。（発達障害、11歳）
- ・ 障害児支援センターの常勤医師（児童精神科）の診察、言語訓練、介護ヘルパーによる移動支援（発達障害、11歳）
- ・ OT（発達障害、12歳）
- ・ ○○園地域支援、学童クラブ（発達障害、12歳）
- ・ ことばの教室（他小学校への通級（発達障害、12歳）
- ・ なし（発達障害、12歳）
- ・ 家庭教師、病院での心理の先生によるカウンセリング（発達障害、12歳）
- ・ 居宅介護（ガイドヘルプ）を頼んでいる。日帰りショート利用している。（発達障害、12歳）
- ・ 週1回のヘルパーと週1回の訪問リハビリ（発達障害、12歳）
- ・ 生活サポート（発達障害、12歳）
- ・ 通院しているのみ（発達障害、12歳）
- ・ 通級（発達障害、12歳）
- ・ 臨床心理によるカウンセリング、親の会参加（発達障害、12歳）
- ・ 通級指導教室（発達障害、36歳）
- ・ 障害児通所施設でPT療育月に2回（盲ろう、7歳）

【Ⅲ問7 現在受けている教育に満足している理由】

- ・ 昔は良かったです（肢体不自由、68歳）
- ・ 給食がおいしい（視覚障害、10歳）
- ・ 隣接して医療機関があるため、発作等の対応に安心感があるから。（重複障害、10歳）
- ・ 引越をして、地域になじんできたから（知的障害、10歳）
- ・ 手話を使う（聴覚障害、12歳）
- ・ 医療的ケアを校内では訪問看護師と担任の先生にしてもらえるから。（母が付き添わなくてよいから）（発達障害、12歳）
- ・ 複数の教員からアドバイスを得られるから（盲ろう、7歳）

【Ⅲ問8 交流及び共同学習を経験して何が変わったか】

- ・ 同年齢の子と一緒に（にぎやかに）いる事が普段少ないので本人がうれしい様だ。（肢体不自由、8歳）
- ・ 地域の小学校に交流する事で息子を知ってもらおうキッカケになった。（肢体不自由、10歳）
- ・ 義眼（視覚障害、10歳）
- ・ 本人は重度なので本人が変わったという事よりも同学年の健常の子供さんが、交流する事で理解を深められると思う（重複障害、8歳）

- ・本人が頑張れば結果がついてくることが実感できた（聴覚障害、12歳）
- ・ボランティアサークルへの加入（難病、9歳）
- ・自分の子供も含め障害のある子もない子も大人もお年寄りもみんな同じだという意識が持てたこと。（発達障害、9歳）
- ・何かを吸収していると思う（本人もお友達も）（発達障害、10歳）

【Ⅲ問9 今後どのような交流及び共同学習が行われることを望むか】

- ・今は近くの小学校の子が遊びに来てくれているのですがすごく楽しそうなので、もっともつと回数を増やしてほしいです。（肢体不自由、7歳）
- ・地域の（支援学校のある地域）学校との交流だけではなく、地元（障害児の兄弟が通っている学校）の学校との関わりがたくさん欲しい。障害児の兄弟のお友達が、障害に対して自然に理解を示せる場をつくって欲しい。（肢体不自由、7歳）
- ・（今もそうなのですが）特別支援を受ける子ども達同士や親の交流も大切（週1回1時間全学年参加でハンドベルやゲームを楽しんでいるーリラクゼーションになっている。うちの子どもの場合親学級で国語も算数も受け、横に先生か介助員の方がいる。算数は苦手だが、少し支援（アドバイス）があると理解できる。国語は特にいろんな考えを聞けるので差が小さければ現学級で刺激を受けながら支援することを希望している。移動は支援が必要なので必ずついている。休み時間も介助してもらいながら外あそびに参加する時もある。危険をとまなうことを除いて当番活動にも参加している。当番活動も成長に大きく貢献するので今後も参加していきたい。（肢体不自由、8歳）
- ・今のままで満足しています。（肢体不自由、8歳）
- ・今は年に数回（体育館や教室で）いろいろと交流している様ですが、野外で一緒に体験したり、保護者の方も一緒に参加して、いろいろ障害児の事をもっと理解してもらいたいです。今の子供は「最悪。」とか「運が悪い」とか言いますが、体が動くだけでも幸せと言う事を感じてもらいたいです。命の勉強にもなるのではないかと思います。どんどんいろんな学校の子供にこういう子もいる事を見てもらいたいです。イジメや、自殺が減ってほしいです。（肢体不自由、8歳）
- ・普通小学校との交流を深めお互いに障害に対する理解を深めてほしい（肢体不自由、8歳）
- ・もっと地域の学校と交流したい。（肢体不自由、10歳）
- ・現在、息子が月1度同学年の地域小学校に交流に行っています。共に勉強する事はできませんが、こども達に、または交流校の先生方に“息子も同じ地域で生きています”と知っていただくキッカケになっていますがまだまだお客様扱いです。小・中・高卒業後息子を地域で生きていけるようにもう一步ふみこんでの交流を望んでいます。例えば避難訓練など…。また反対に息子の学校がどんな学校か見学する逆交流などできたらなァーとも思っています。中学生になると肢体不自由児は身体が大きくなる事や受験などからほとんど交流できなくなっています。勉強だけでいいのかなァー息子と接する事で“心を育てる”なんて余裕は…。ないのが現状なのでしょう。か…。（肢体不自由、10歳）
- ・春から中学部に上がるので、稲作学習などいっしょに体験する事を通して交流を深めたい。（地域校交流）・学校と家が近いので、学校間交流の子どもたちも、近所にいるので文化祭など生徒会交流の中で、親ぼくを深めたい（肢体不自由、11歳）

- ・相手の小学校（交流校）の先生の意識の向上。（肢体不自由、11歳）
- ・地域の学校との交流（肢体不自由、11歳）
- ・文化祭（肢体不自由、11歳）
- ・なし（肢体不自由、12歳）
- ・選んではいませんが…。地域の小学校へ、もっと自由に交流できるとよいと思う。制限が厳しくものたりない思いも…（肢体不自由、12歳）
- ・我が子を通して、障害のある人への接し方を、たくさんの人に知ってもらったり、本人も、自信を持って生きていける様な交流。（視覚障害、11歳）
- ・交流体験の内容で授業体験（普通学級）を少しやってみたい。（視覚障害、11歳）
- ・今までとかわかりなくいっしょに出来ることはやらせてもらいたい（視覚障害、11歳）
- ・いままで通りでよい（重複障害、7歳）
- ・もっと交流の回数を増やして頂けたら嬉しい（重複障害、8歳）
- ・訪問した学校で「お客様」の存在にならないよう双方が積極的になれば…と思う、子供同志でふれあいなるべく保護者や教員は見守る方向でよいと思う、（子供で考えていろんな企画をしてもらい昨年度大変よい交流になったので）（重複障害、11歳）
- ・4月からは中学部なので、交流はしなくなりますが、（勉強、体育全てにおいて、参加する事が難しい為）同じ地いきに住んでいることを知ってもらう為には交流は続けていきたいですね。子供には普通の学校はこうだということを見せてやりたいので。授業（片すみにそつと…でいいので）に参加できたらいいんですけどねー。（重複障害、11歳）
- ・国語算数以外の教科は交流級で学習しており、現状にとっても満足しています。今後も今までどおりに交流できればいいなと思います。（知的障害、8歳）
- ・困っている子供に対して、やさしさや、親切さなどを学べる場所があるので交流、共同学習は、とても大切だと思います（知的障害、9歳）
- ・障がい児に慣れてもらうためにも必要だと思う。（知的障害、9歳）
- ・クラブ活動（スポーツなど）（聴覚障害、12歳）
- ・本人の障害に対しての理解が深まるように題材としてその障害を疑似体験してから様々な体験学習をしていただきたい（聴覚障害、12歳）
- ・新入生が入ってきた時などには新入生に疾患の理解のための学習や、今まで通り、様々な交流学習をしてもらえれば良いです。（難病、6歳）
- ・体が不自由なため、みんなと全く同じやり方で活動に参加することは難しいが、工夫次第ではその子なりの方法で活動できるのだということがこれまでの学校生活で実証されている。今後も「できない」ではなく「どうしたらできるか」という意識を学校全体で共有し本人にも、他の子にも充実した活動ができるようになってほしい。また、他校の児童とも交流する機会があれば…と思う。（難病、8歳）
- ・今で充分です。（難病、9歳）
- ・今までの活動で満足しています。（難病、9歳）
- ・障害・病気＝かわいそうというイメージがまだまだ強く、子供をつれて歩いていると、かわいそうという声をかけられることが多いので、障害があっても強くたくしく生きているので、子供たちが自然体で地域にとけこんで、すごせるよう、交流を深めたいと思う。（難病、10歳）

- ・交流学級のクラスの一員と感じられるような交流。お客さんのように感じられる交流は寂しい。(発達障害、7歳)
- ・今はデイサービスに行きお年寄りと接したり、支援級の子供さんとの関わりがありますが、盲、ろう又肢体不自由のお子さんや大人などの方々とも接する機会があると世の中には多くの人があると認識できると思います。又、学習する際もただ時を過ごすのではなく、互いに関わり合ってひとつのものを作り上げていくような内容が良いと思います。(例えば) ろうの方も一緒に調理実習するとか。盲の方は、どうやって買い物をしているのかなど。(発達障害、9歳)
- ・無理のない範囲で(本人の)自然にまかせて、本人と学校の希望に折り合いをつけながら、続けて行って欲しいです。(発達障害、10歳)
- ・学期に1度地域の小学校に交流に行きたい(発達障害、11歳)
- ・親、子共良い刺激になると思うと思うが、インフォメーションが足りないかと思う。また、充実しているまでいっていないかもしれない。(発達障害、11歳)
- ・双方に負担感の無い交流。付添いの保護者の負担を軽減するために、スクールサポーター等の活用(発達障害、11歳)
- ・今まで副籍や、学童で知り合になった友達との交流を希望しているが…受け入れ先(これから行くべき先)の反応がわからないのでここで止まるのは残念です。(発達障害、12歳)
- ・特にありません(発達障害、12歳)
- ・交流の際に本人の通う特別支援学校の教員と一緒に参加できるようにしてほしい。・現在、本人にあわせて交流の内容や活動を工夫していただいているので、ひきつづきその時々に応じてじゅうんな対応をしていただけるとありがたいです(盲ろう、7歳)

【Ⅲ問10 現在受けている教育に満足していない理由】

- ・週3日は配置されているが、週5日にしてもらえない。(肢体不自由、12歳)
- ・障害に対する学校の知識や理解をもっと高めてほしい(視覚障害、5歳)
- ・他の子を見ながら覚えていくタイプだが真似させたい子があまりいない。他害をする子が多くて学校を怖っていた為(重複障害、9歳)
- ・もっと文法の勉強をさせてほしい(重複障害、10歳)
- ・重症児は選びようがないから(重複障害、10歳)
- ・児童数に対する先生の人数が少ない(2.5~3:1)のため(重複障害、12歳)
- ・障害者本人は学校にあまり行きたがらないが理由は不明(重複障害、12歳)
- ・普通の学校に行った。(精神障害、43歳)
- ・学校行事への参加について障害児という理由で参加させない教員が居るから(知的障害、9歳)
- ・人数が多過ぎて、手を差しのべてもらえない。(知的障害、11歳)
- ・より重い児童に先生が多くつき、手をかけていただけないから。(知的障害、12歳)
- ・口話中心の指導による、勉強の遅れが著しいから(聴覚障害、8歳)
- ・子供のことを第一に考えていない学校の対応(聴覚障害、8歳)
- ・人事異動で担任が変わってしまったから(聴覚障害、11歳)
- ・支援学級が密室で、教師によるいじめが行われていたから。(発達障害、8歳)

- ・ 特意分野（記憶・言語 IQ）が不特意（知覚統合動作）を重視するために特意が伸びずにいる。（発達障害、10歳）
- ・ 全職員が担任を支え、本人を支援する体制が整えられようとしていないから（発達障害、11歳）

【Ⅲ問11 今後どのような交流及び共同学習が行われることを望むか】

- ・ 互いの学校の都合もあるとは思いますが学期毎に1回程度では交流にはならないようにも思う。せめてあと1～2回は増やせればと思う。（視覚障害、7歳）
- ・ 一人ひとりが無理をしたり、言いたいことをガマンしたりしないですむようにしてほしいです。地域の小学校の子たちと区別してほしいことを区別しないし、区別してほしいことを区別するのは変です。（視覚障害、12歳）
- ・ 自分の住んでいる市の学校ではない為その人達とはその場（それでもしないよりはいいですが）限りで終わってしまう。授業の中で自分の住んでいる地域の学校に行き遊ぼう！学ぼうがあればいいなと思いました。（個人でだと普通校の行事・行動に全てを合わせる形になりやすいから）お互いの歩み寄りがあればいいなと思いました。（重複障害、9歳）
- ・ 給食等、勉強以外での楽しい時間の共有をして欲しい。（重複障害、11歳）
- ・ 居住区の学校との交流を希望している。今は、年に1回のみ、3時間だけ交流している。我が子と担任が地域の障級に訪問している。（重複障害、11歳）
- ・ 本人が出来ると思われた事は、積極的に参加させたい（重複障害、12歳）
- ・ 客だから、ということで、いれてもらえないことがよくある。先生の（特に、校長）みえが大きい。しかも、がんばったとしても、家の人ややったんじゃないか、と思われた。（重複障害、30歳）
- ・ 健常者と障害者に分かるように共同でやるのをもっと広げる。（重複障害、35歳）
- ・ お客様、あの子は特別な子という位置づけのもとでの交流や共同学習では無意識の排除、差別化を生む。分けないということが原則の学習（体験：共にいることで喜びや困難を分かち合えるような学習）を望みます。（知的障害、11歳）
- ・ 親付きでも良いので交流クラスに参加させて欲しい（現在までは許可されていない）（知的障害、11歳）
- ・ 教師全員が障害に対する理解をもって欲しい（発達障害、10歳）
- ・ 特意分野の授業に参加できるような支援をうけての交流。（発達障害、10歳）
- ・ 周りの子ども達に障害のことや仲間であるという意識が自然に浸透して行くような交流、（もちろん学校中の先生方の努力が必要ですが）（発達障害、11歳）

【Ⅲ問13 特別支援教育制度になって何が変わったか】

- ・ 他養護学校の分教室ができるようになった。（視覚障害、7歳）
- ・ “特別支援教育”ということばが良くきかれるようになったくらいです（重複障害、8歳）
- ・ よく解らない（重複障害、9歳）
- ・ 変化に対する実感がまだない（重複障害、10歳）
- ・ あまり変わらない（重複障害、12歳）
- ・ 子どもが分けられやすくなった（重複障害、12歳）

- ・書かなければならない書類がふえた。(重複障害、12歳)
- ・変わらない(重複障害、12歳)
- ・知的障害児は通所学級においては支援しない。学習はみないと言われるようになった。(知的障害、7歳)
- ・特別支援学校に入る子どもが増えた。(知的障害、9歳)
- ・特別支援教育は、発達障害児だけのものという教育委員会、学校の認識により、知的障害児に対する支援については、後退していると感じられる。大変、期待はずれの結果になった。(知的障害、9歳)
- ・担任が特別支援コーディネーター等兼任している為、多忙すぎて、聞れる時間が少なくなった。(知的障害、11歳)
- ・一人ひとりのニーズに応じた教育支援をしようと努力してくれるようになった。(知的障害、12歳)
- ・専門性のある教員がコーディネーターとして校外へ出ていくようになり内部の支援が手薄になった(聴覚障害、11歳)
- ・聾学校に入れなくなった。(内部障害、11歳)
- ・多動性の子供にだけ対応し、身体不自由児は放置されている(難病、9歳)
- ・たてまえとしてはやるべきとなったので、校長に多少話がしやすくなった。(発達障害、8歳)
- ・コーディネーターが忙しくなった(発達障害、9歳)
- ・色々な子供(我が子よりもレベルの高いお子さん)が入ってきてくれて、いい刺激になっている。(発達障害、10歳)
- ・間口が広げられた事により、特別支援学級・特別支援学校へのより知的軽度の子供の大量流入(発達障害、11歳)
- ・制度がかわってから入学しているのでわからない(盲ろう、7歳)

【Ⅲ問17 特別支援教育コーディネーターに相談しない理由】

- ・現在まだ必要と感じていない為(肢体不自由、10歳)
- ・誰だかよく分からない。(肢体不自由、10歳)
- ・現時点では相談せずに対応していているから。(肢体不自由、11歳)
- ・学級担任がコーディネーターだから(肢体不自由、12歳)
- ・今のところ特に必要がないから(肢体不自由、12歳)
- ・私達の時には、コーディネーターはなし(肢体不自由、68歳)
- ・特に相談する事がない(視覚障害、8歳)
- ・相談しにくい(視覚障害、10歳)
- ・知識がない、子供が暴力をうけたから(重複障害、11歳)
- ・普段から担任とコミュニケーションとれているのでさしてコーディネーターに相談するような内容(なやみ)もない(重複障害、11歳)
- ・どの人がそうなのかわからないから(重複障害、12歳)
- ・特に相談する内容がない(重複障害、12歳)
- ・特に問題がないから(重複障害、12歳)

- ・本人がそこまで考えていない（重複障害、12歳）
- ・当時、相談先なかった。（精神障害、43歳）
- ・時間が不足しているから（知的障害、9歳）
- ・コーディネーターの人格・能力に問題ありと判断（知的障害、11歳）
- ・特に相談事がない（知的障害、12歳）
- ・それじたいが知らなかったから（知的障害、36歳）
- ・以前は、相談していましたが異動になってから、現在は、コーディネーターが外の事ばかり忙しく、余裕がないから…（発達障害、9歳）
- ・相談する機会がない、担任にまず相談すべきと思うから（発達障害、9歳）
- ・相談の際、場合によってはコーディネータの先生の同席もお願いしても、同席してもらったことがないから。（発達障害、9歳）
- ・コーディネーターは名前ばかりで、アドバイスできるような人材ではないから（発達障害、11歳）
- ・親の負担が重すぎる（発達障害、11歳）
- ・わからない（15歳）

【Ⅲ問21 中学校段階で考えている進学先】

- ・or 盲学校（肢体不自由、8歳）
- ・まだ十分な情報収集が出来ていないので、決められていない。（肢体不自由、9歳）
- ・もうすでの卒業している（肢体不自由、68歳）
- ・今、現在では決められない（視覚障害、5歳）
- ・養護学校（重複障害、11歳）
- ・養護学校の中学部（重複障害、11歳）
- ・私立の盲学校（重複障害、12歳）
- ・迷っている（知的障害、11歳）
- ・盲学校（知的障害、12歳）
- ・分からない（知的障害、36歳）
- ・まだ迷っている。（発達障害、10歳）
- ・現状維持（発達障害、10歳）
- ・成長をみながら3か4にしたい。（発達障害、11歳）

【Ⅲ問22 問21で答えた学校を進学先として考えている理由】

- ・気管切開・経管栄養に対応できるのがそこしかないから。（肢体不自由、7歳）
- ・小中高と同じ学校だから（肢体不自由、10歳）
- ・地域の中学校に受け入れてもらえないため（肢体不自由、10歳）
- ・そこにしか通えないから（肢体不自由、11歳）
- ・通常級だと勉強がついていけないから（視覚障害、8歳）
- ・他にいないから（視覚障害、11歳）
- ・今更他の学校へは行けない（重複障害、9歳）
- ・他に無いから（重複障害、11歳）

- ・地域の中学は遠いから（重複障害、11歳）
- ・本人が（多分）希望しているから（重複障害、11歳）
- ・他にないので（重複障害、12歳）
- ・同じ校内なので（重複障害、12歳）
- ・普通に進学した。（精神障害、43歳）
- ・小・中一貫校だから（知的障害、9歳）
- ・進学直前の本人の状況を見て考えるつもりだから。（知的障害、9歳）
- ・現在特別支援学校に通っているから（知的障害、11歳）
- ・情報を集めた上で子がやっっていけるか（知的障害、11歳）
- ・地域の学校だから通うのは当然（知的障害、11歳）
- ・通っている学校が小・中・高まであるから（知的障害、11歳）
- ・同じ学校だから（知的障害、11歳）
- ・他に行くところがないから（知的障害、12歳）
- ・特別支援学校小学部に通っていたので（知的障害、12歳）
- ・「問10」の「21」により、地域の中学にはとても入れないと思うから。（聴覚障害、8歳）
- ・普通の学級ではついていけないから（聴覚障害、11歳）
- ・ろう学校の高等部に普通科ができたから（聴覚障害、12歳）
- ・〇〇県立ろう学校（聴覚障害、12歳）
- ・中学校に行くには設備面で難しいから（難病、10歳）
- ・今の段階ではそれしか考えられない、想像できないから（発達障害、7歳）
- ・障害の程度で判断（発達障害、8歳）
- ・他にないから（発達障害、9歳）
- ・親と当事者と先生でていねいに力を合わせたいので（発達障害、10歳）
- ・現在通う特別支援校の中学部だから（発達障害、11歳）
- ・現在通っている学校で高等部まである（発達障害、11歳）
- ・就労に向けて子も親も取り組めるので（発達障害、11歳）
- ・小、中一貫校だから（発達障害、11歳）
- ・小学部から中学部にかわるだけ（発達障害、11歳）
- ・本人の成長が期待できる学校（発達障害、11歳）
- ・医療的ケアを受けられる体制だから。（発達障害、12歳）
- ・小学部でも通っているから（発達障害、12歳）
- ・通常学級でうまくいくか心配だから（発達障害、12歳）
- ・現在通っている小学部→中学部へ進む事で、小、中の9年間で発達を考えてもらえるから（盲ろう、7歳）

【Ⅲ問24 進学先を選択するにあたっての悩み】

- ・子供の発達状況と見学先のハード面、ソフト面のあり方、メリットデメリットなど、教員や学校全体の意識の持ち方、多方面から総合的に考えて見極めていかなければならないから。（肢体不自由、9歳）
- ・地域の学校へ通いたいから（肢体不自由、9歳）

- ・受け入れ体制に不安があるから（肢体不自由、10歳）
- ・医療ケアがある為、また母親に常時付き添ってもらわないといけないから（肢体不自由、11歳）
- ・行ける場所（施設）がないから（肢体不自由、11歳）
- ・学校が遠いから（肢体不自由、12歳）
- ・重度なので受け入れ先が合うか（肢体不自由、12歳）
- ・進学先の生徒の学力が低いので、ちゃんとした授業をするのかどうか心配（肢体不自由、12歳）
- ・本人にとってどこがいいか（視覚障害、5歳）
- ・専門の先生がついてくれるか、教材の準備のしかた（視覚障害、11歳）
- ・点字ができる人が少ないから（視覚障害、11歳）
- ・今いる学校のやり方は私に合っていません。（視覚障害、12歳）
- ・健常児と一緒に生活をさせたいから、通常級に行かせたいと思うところから悩んでいる。（重複障害、8歳）
- ・本人の意見をもう少し成長してから聞いてみないとわからないから（重複障害、8歳）
- ・今の中等部が本人に合っている気がしないので（というより同学年の子が思春期になった時どうなるのか怖い）（重複障害、9歳）
- ・ほんらいならば、中学個別と養護学校の中間の学校があれば選択したいと思った。（重複障害、11歳）
- ・重複障害に対応できる学校が無い。どの学校も一長一短であるため（重複障害、12歳）
- ・通学に大変なため（重複障害、12歳）
- ・中学部になると教員担任との数がへるため心配（知的障害、8歳）
- ・中学校がとても荒れている様なので通わすのに危険が気がする。（知的障害、9歳）
- ・引っ越し（転校）（知的障害、11歳）
- ・在学期間を優先するか、就職を考えての進路を優先するか悩んでいます（知的障害、11歳）
- ・病気の進行性がわからない為、体力的な問題（難病、8歳）
- ・本人の体力、病気の進行（難病、8歳）
- ・学校が遠く、歩いて行く事が難しいから（難病、10歳）
- ・病気の進行で通えるかが不安（難病、10歳）
- ・支援級のある学校は複数あり、それぞれに特徴があるから（発達障害、7歳）
- ・教員に問題があるから（発達障害、9歳）
- ・適切な支援が受けられるかわからないから（発達障害、9歳）
- ・わからないことが多いから（発達障害、10歳）
- ・比較して検討したいのに、まだ中学部が設置されていないから（H21.4～開校予定）（発達障害、10歳）
- ・ものたりないかもしれない。（発達障害、11歳）
- ・学校側の支援体制（発達障害、11歳）
- ・小低→小高→中と順に教育の質が落ちてゆく（発達障害、11歳）
- ・特別支援教育についての知識が足りない（発達障害、11歳）
- ・どれだけ理解している先生になるか（発達障害、12歳）